

**CASBEE-新築(簡易版)2008年版**  
**SECカーボン GF-2号炉**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年  
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.1)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.30					<b>2.3</b>
<b>1 音環境</b>		1.4	0.15	-	-			1.4
<b>1.1 騒音</b>		1.0	0.40	-	-			
1.1.1 暗騒音レベル		1.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
<b>1.2 遮音</b>		2.2	0.40	-	-			
1.2.1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
1.2.2 界壁遮音性能		1.0	0.40	3.0	-			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
<b>1.3 吸音</b>		1.0	0.20	3.0	-			
<b>2 温熱環境</b>		1.0	0.35	-	-			1.0
<b>2.1 室温制御</b>		1.0	1.00	-	-			
2.1.1 室温設定		-	-	3.0	-			
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
2.1.3 外皮性能		1.0	1.00	3.0	-			
2.1.4 ゾーン別制御性		-	-	3.0	-			
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
2.1.6 個別制御		-	-	-	-			
2.1.7 待機が空調に対する配慮		-	-	-	-			
2.1.8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		-	-	3.0	-			
<b>2.3 空調方式</b>		-	-	3.0	-			
<b>3 光・視環境</b>		3.6	0.25	-	-			3.6
<b>3.1 昼光利用</b>		5.0	0.43	-	-			
3.1.1 昼光率	屋根面、壁面に大型の採光窓を設置	5.0	0.60	3.0	-			
3.1.2 方位別開口		3.0	-	3.0	-			
3.1.3 昼光利用設備	屋根面、壁面に大型の採光窓を設置	5.0	0.40	3.0	-			
<b>3.2 グレア対策</b>		-	-	-	-			
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
3.2.2 昼光制御		-	-	3.0	-			
<b>3.3 照度</b>		2.0	0.21	-	-			
3.3.1 照度		2.0	1.00	3.0	-			
3.3.2 照度均斉性		-	-	-	-			
<b>3.4 照明制御</b>		3.0	0.36	3.0	-			
<b>4 空気環境</b>		3.6	0.25	-	-			3.6
<b>4.1 発生源対策</b>		3.0	0.50	-	-			
4.1.1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-			
4.1.2 アズベスト対策		-	-	-	-			
4.1.3 ガス・カビ等		-	-	-	-			
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		4.5	0.30	-	-			
4.2.1 換気量	建築基準法に定める風量の1.4倍以上の換気風量を確保	5.0	0.50	3.0	-			
4.2.2 自然換気性能		-	-	3.0	-			
4.2.3 取り入れ外気への配慮	空気取入口を各種排気口と異なる壁面に確保	4.0	0.50	3.0	-			
4.2.4 換気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		4.0	0.20	-	-			
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-			
4.3.2 喫煙の制御	工場内は喫煙禁止、事務所エリアに喫煙コーナーを設けている	5.0	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			4.1
<b>1 機能性</b>		5.0	0.40	-	-			5.0
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		5.0	0.60	-	-			
1.1.1 広さ・収納性	工場の作業員は5名程度	5.0	1.00	3.0	-			
1.1.2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-			
1.1.3 バリアフリー計画		-	-	3.0	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		5.0	0.40	-	-			
1.2.1 広さ感・景観	天井高さ約20m	5.0	1.00	3.0	-			
1.2.2 リフレッシュスペース		-	-	3.0	-			
1.2.3 内装計画		-	-	3.0	-			
<b>1.3 維持管理</b>		-	-	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保		3.0	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		2.7	0.31	-	-			2.7
<b>2.1 耐震・免震</b>		3.0	0.48	-	-			
2.1.1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		2.7	0.33	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.27	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.27	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	-	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.18	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.27	-	-			

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			2.4	0.19	-	-
1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-
3	電気設備	非常電源、無停電装置を備えている	4.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			4.2	0.29	-	-
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-
1	階高のゆとり	天井高さ約20m	5.0	1.00	3.0	-
2	空間の形状・自由さ			-	3.0	-
3.2 荷重のゆとり		壁長さ比率: 295m ÷ 3500 = 0.08	5.0	0.31	3.0	-
3.3 設備の更新性			3.1	0.38	-	-
1	空調配管の更新性		-	-	-	-
2	給排水管の更新性		1.0	0.20	-	-
3	電気配線の更新性	電気ラックを建屋内に露出配置している。	5.0	0.13	-	-
4	通信配線の更新性	電気ラックを建屋内に露出配置している。	5.0	0.13	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.27	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.27	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-
1 建物の熱負荷抑制			3.0	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.5	0.29	-	-
2.1	自然エネルギーの直接利用	屋根面にトップライトを全面に配置	4.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		ERR=75.3	3.0	0.43	-	-
4 効率的運用			3.5	0.29	-	-
4.1	モニタリング	排ガス設備にガス濃度測定機を設置している	4.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-
1.1	節水		3.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.63	-	-
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント使用	3.0	0.21	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	外壁材を容易にとりはずすことが可能	4.0	0.25	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.22	-	-
3.1	有害物質を含まない材料の使用	シーリング材に有害物質を使用しない	4.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-
1	消火剤	ハロンの使用はしない	4.0	1.00	-	-
2	断熱材		-	-	-	-
3	冷媒		-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-
2	汚水処理負荷抑制	排水処理設備を敷地内に設置している。	4.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制	駐車場の確保、十分な幅員・延長の構内道路を確保	5.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策を実施、広告物照明の非設置	4.0	0.70	-	-
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-